

国際理解事業助成事業報告書

1.事業実施後の効果

韓国大邱広域市生活体育会及び大邱市サッカー協会の招聘による継続したスポーツ交流事業であり、今回2泊3日の日程で、大邱F C少年サッカーチームとの交流試合及び大邱F C少年サッカーチーム家庭への2泊3日のホームステイを行った。

交流試合では大邱F C少年サッカーチームと交流試合を行った。

昨年と今年のレインボーカップで久留米を訪問した大邱F C、U-12とU-11の選手も参加しており、再開を喜び合う姿も見られ和やかな交流が行われた。

また、選手達は2名1組でホームステイを受けて頂き、ホストファミリーと過ごす時間も長くそれぞれが各家庭で韓国の文化、習慣そして、食生活を体験し広く韓国の文化に触れることが出来た。

サッカーの会場はチムサン小学校グラウンドで人工芝の立派なグラウンドで大邱広域市の方々は私たちに最高の配慮をして頂いた。

3日間を通して貴重な体験をした選手達は、事業の目的である相互理解、友好親善を深めまた、友人として今後の交流も期待できる。

2.今回の事業の感想・問題点・反省など

この交流は、大邱市生活体育会の事業として位置づけられており、子供達のホームステイを重点に置かれ、韓国文化の理解におおいに配慮されている事を感じた。

大邱スタジアム見学と慶州観光及びエアドーム見学を受けました。

3.財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会に対する意見・要望

大邱市側は大邱市生活体育会が窓口で、交流の内容が良く継続をつよく希望されています。また、ホストファミリーからも交流の継続について要望が寄せられているとのことです。今後、久留米市及び久留米観光コンベンション国際交流協会から職員の随行があれば、他の分野を含めてなお一層交流が深まるものと思います。

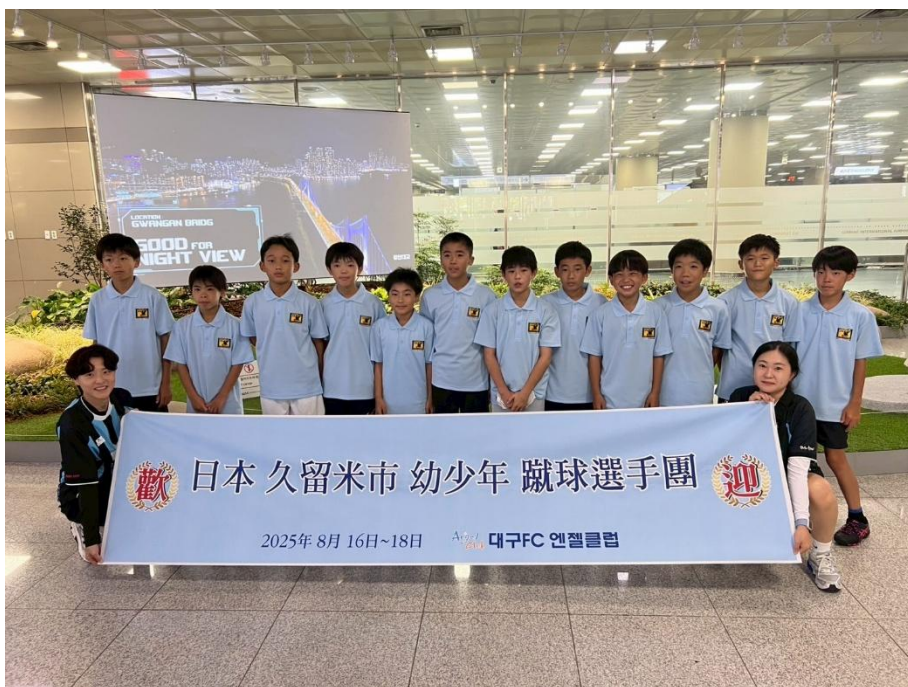
韓国訪問小学生スポーツ交流事

8月16日

久留米出発



大邱空港に到着



交流試合



大邱スタジアム見学



8月17日

ホームステイ先での交流



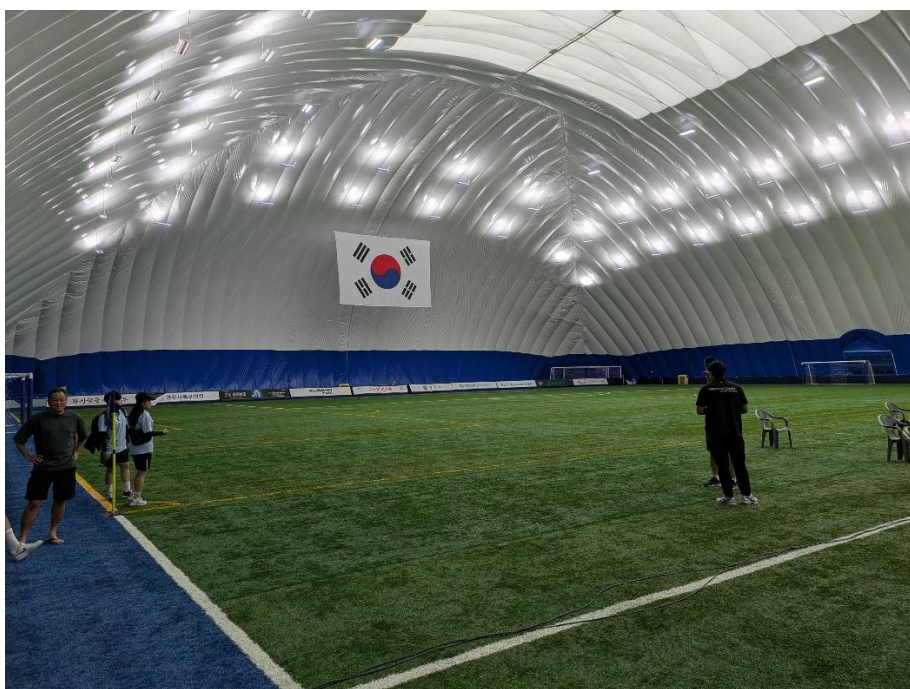


慶州観光



大邱市サッカー協会会長

エアドーム見学



全天候型の人工芝ドームサッカー場



大邱市サッカー協会会長室



8月18日

お別れセレモニー

